

## 平成31年度 公開講座（短期課程）

担当科名	機械システム系メカトロニクス科
担当者名	山口俊憲
講座名	ものづくり革新・改善のための人材育成セミナー (6)ものづくりカイゼンの進め方
実施日時	① 平成32年1月 8日 (水) 18:00～21:00 ② 平成32年1月15日 (水) 18:00～21:00 ③ 平成32年1月22日 (水) 18:00～21:00 ④ 平成32年1月29日 (水) 18:00～21:00 ⑤ 平成32年2月 5日 (水) 18:00～21:00 ⑥ 平成32年2月12日 (水) 18:00～21:00 (計18時間)
募集定員	6人 (申込者多数の場合最大12名程度まで)
募集対象	対象職種：製造業 受講に必要なレベル：生産改善に関する知識をある程度持っており、現在、生産管理、品質管理等の管理業務を行われている方、あるいは今後その役割を担う方。
注 意 点	ものづくり革新・改善のための人材育成セミナー(1)～(6)は企業などとの連携を通じて実際に現場改善に取り組む同一講師が全て担当しています。 本講座のみレベル不問としておらず、現場改善の中心となるリーダーのための講座となっています。そのため、過去に同様の講座を受講された方、本校産業技術専攻科を修了された方、他の機関で経営工学や生産管理等、同様の内容を学ばれた方を対象としています。
講座内容	生産性・品質の向上を実施するためには、現場から管理者まで様々なレベルにわたる人員の生産管理への理解、カイゼン手法の習得、ものづくりに対する意識の変革が必要となります。また、カイゼンの進め方を理解したリーダーの役割が重要となります。すなわち、“現場作業員”、“経営者”、“改善推進者”間で「知識」、「現状認識」、「意識」の3識の共有が必要となります。本講座では、生産性・品質・安全性向上を進める上で、現場カイゼンのリーダーに必要な知識やカイゼンの進め方について習得します。また、ものづくり革新・改善のための人材育成セミナー(1)～(5)で用いている実習教材を活用した教育を受講者が勤める企業で活用するための方法を習得します。
目 標	現場改善の中心的役割を果たすリーダーとなること。

履修項目	<p>①生産現場の目指す姿を考える</p> <p>②生産、生産管理、品質マネジメントとは</p> <p>③ものづくり現場におけるレジリエンス</p> <p>④知識・現状認識・意識の3識の共有</p> <p>⑤ノンテクニカルスキル</p> <p>⑥リーンシックスシグマ</p> <p>⑦様々なツールを活用したIE手法</p> <p>⑧事例紹介に基づく改善の進め方</p> <p>⑨求められる生産に対応する人材の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 模擬生産ライン（多品種少量、工程バランス、リードタイム短縮への理解）を活用した人材育成の進め方</li> <li>・ ブロックを用いた動作改善分析トレーニングの進め方</li> <li>・ ブロックを用いた文書コミュニケーショントレーニングの進め方</li> </ul>																		
使用装置	特になし																		
受講費用	<p>受講料：7,800円（18時間コース）</p> <p>自己負担：           円（テキスト：           円・材料費：           円）</p>																		
講座費用	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%;">報償費</td> <td style="width: 16.5%; text-align: right;">円</td> <td style="width: 33%;">印刷製本費</td> <td style="width: 16.5%; text-align: right;">円</td> <td style="width: 33%;">材料費</td> <td style="width: 16.5%; text-align: right;">円</td> </tr> <tr> <td>費用弁償</td> <td style="text-align: right;">円</td> <td>消耗品費</td> <td style="text-align: right;">円</td> <td>通信運搬費</td> <td style="text-align: right;">円</td> </tr> <tr> <td>普通旅費</td> <td style="text-align: right;">円</td> <td>使用賃借料</td> <td style="text-align: right;">円</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	報償費	円	印刷製本費	円	材料費	円	費用弁償	円	消耗品費	円	通信運搬費	円	普通旅費	円	使用賃借料	円		
報償費	円	印刷製本費	円	材料費	円														
費用弁償	円	消耗品費	円	通信運搬費	円														
普通旅費	円	使用賃借料	円																
その他	<p>「様々なツールを活用したIE手法」についての内容を加えたため、時間数を15時間から18時間に増やした。</p> <p>○ 単位互換について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専門課程での単位互換はない。</li> <li>・ この講座を受講することで、産業技術専攻科ものづくり改善コースの「工程分析・改善」、「動作解析・改善」の受講を一部免除する。</li> </ul> <p>○ 講師と講座について</p> <p>ものづくり革新・改善のための人材育成セミナーを担当する講師は大学・大学院で経営工学を専攻し、その後10年以上にわたり企業の生産現場などの改善に取り組んできています。また、このセミナーは社会環境の変化や講師が生産改善に取り組んだ成果などに基づき数年に一度大きな変更を加えながら10年以上開講し、延べ500人以上の方が受講しています。</p> <p>*例年、定員を超える申し込みを頂いているため、最大受け入れ人数を12名とした。</p>																		